

階上小学校の防災教育について

階上小学校では、東日本大震災後、防災教育に力を入れています。業前の時間（15分）を利用した防災タイムでは、1年生から6年生まで防災・減災の学習を年間15回行っています。また、1、2年生は生活科等で、3～6年生は総合的な学習の時間で防災・減災について学習します。特に、4年生では、階上地区の地域ごとに分かれて防災復興マップを作製し、地域防災の意識を育てていきたいと考えています。最終的には、保護者や地域の方々に学習したことを発信できることを目指していききたいと思います。

8日（火）には、気仙沼防災推進委員会の栗原誠さんに気仙沼で起こりうる災害について講話していただきました。災害は地震や津波だけではなく、大雨洪水、土砂災害などもあること、自分が住んでいる所は地理的にどんなところなのか、災害が起きたとき、どのルートでどこへ逃げたらよいのかなどを考えておく必要性を教えてくださいました。

4年生の子供たちは、自分の命を守る大切さだけでなく、みんなで助け合う防災についても真剣に考え、これからの学習の課題に気付くことができました。今後学習の過程で、保護者の皆様に御協力をお願いすることもありますので、よろしくお願いいたします。



「自然といかにつきあうか」が大切だと話していただきました。



大雨洪水は、海流の変動の影響を受けていることにびっくり！



防災について真剣に考える子供たち！

救命救急訓練を行いました！

9日（水）に防災センターの消防署職員を講師に迎え、教職員の救命救急講習会を行いました。

主に、心停止した場合の対処方法を指導していただきました。胸骨圧迫による心肺蘇生、AEDの使用の仕方、毛布を活用した応急担架の仕方などを学びました。

間もなく水泳学習も始まります。夏に向け、熱中症も考えられます。安全な学校生活を送れるよう今まで以上に気を付けていきたいと思ひます。

